



ビーバーだより5月号

ビーバーだったみんなはビッグビーバーに、ちびたいだったこはビーバーになりすこし おにいさんになりました。こんげつはいよいよキャンプがあります。すこしおにいさんになったぶん じぶんのことはじぶんでやれるようにがんばりましょう。

キャンプでは、ひるまだけのかつどうではなく よるのプログラムもあるよ。テントでみんなとねるとたのしいよ。げんきに、しゅうかいにきてね！

今後の予定

5月13～14日 団キャンプ

晴れ

集合時間・場所 12:00 道満グリーンパーク(ピクニック広場)

解散時間・場所 14:15 同上

持ち物 ビーバーセット キャンプセット 団チーフ着用

雨(14日のみ晴れの場合)

集合時間・場所 8:45 道満グリーンパーク(ピクニック広場)

解散時間・場所 14:30 同上

持ち物 ビーバーセット 団チーフ 食器セット

5月21日 隊集会

晴れ

集合時間・場所 8:30 戸田公園駅西口交番横

解散時間・場所 15:00 同上

持ち物

ビーバーセット、ビーバー弁、隊チーフ着用、**おこづかい 300円**

雨

集合時間・場所 9:30 心身障害者福祉センター

解散時間・場所 11:30 同上

持ち物

ビーバーセット、隊チーフ着用

Unknown Scout Story として語りつがれているお話です。今回は趣向をかえて、保護者のみなさまからスカウトに読み聞かせてあげてください。そして、奉仕活動についてスカウトと話すきっかけにしてみてください。

シカゴからきたウィリアム・ボイスは、道に迷って困り果てていた。その時、ひとりの少年が近づいてきて、「何かお役に立つことがありますか。」と声をかけた。ボイスが、行き先がわからないことを伝えると、少年はボイスの荷物を手にとり、先にたってボイスを案内した。無事目的地に着いたボイスは、習慣的にチップをあげようとポケットに手を入れた。しかし、少年はさっと敬礼をして、「私はボーイスカウトです。私に一日一善をさせてくださってありがとう。スカウトは、他の人を助けることでお礼はもらいません。」と言い、ボイスが少年の名前を聞く前に、ニコリ笑って立ち去った。アメリカに戻ってから当時の大統領ウィリアム・H・タフト(第27代)などにこのことを話した。これがきっかけになり、1910年2月8日にアメリカのボーイスカウト運動が発足することとなった。



キャンプセット

リュックサック(大)

寝袋

銀マット

寝間着(パジャマ、ジャージ等)

防寒着(長袖:パーカー等、長ズボン:ジーパン等)

着替え(パンツ、下着、靴下、制服のポロシャツ)

活動着(活動しやすい洋服、Tシャツ×2、ズボン×1等:防寒着とは別に用意)

タオル

洗面道具

食器セット(洗わずに袋にいれます。汚れても良いビニル袋等に入れてから袋に入れて下さい)

懐中電灯(ヘッドランプ)

ビニル袋複数枚

持ちものすべての分かりやすい場所に記名をしてください。